



ひのき屋の多彩な音色に参加者はノリノリで楽しんだ(16日)

◎：「今年の松之山は暖かいですねー、カメムシも昨年より多い?」
20年余の交友ならでは挨拶で始まったライブ。今月16日、松之山自然休養村センターで「トラベリン・グランド・ひのき屋」ライブを開催。市町村合併前の2000年から交友し、コロナ禍などで休止したがライブは14回目。会場の同センターには地元内外から70人余が参集し独特のリズムの14楽曲を会場にたつぷり響かせた。

20年余の交友、松之山に太鼓リズム

ひのき屋ライブ コロナ禍を乗り越え14回目

◎：ひのき屋は1998年結成。和太鼓、ギター、篠笛、鍵盤ハーモニカなど多彩な楽器で演奏。函館を拠点に活動する旅する音楽集団。松之山との交友は2000年から。旧松之山町時代、山村留学に取り組んだ同町。運営母体育てる会が山村留学センター松之山学園を担い、そのスタッフとひのき屋・曾我直人代表が旧知の仲だった。山村留学活動に太鼓活動を取り入れ、その指導をひのき屋メンバーが行い、2000年から同センターでライブ演奏や太鼓ワークショップなど地域交流をスタート。途中活動を休止したが、2015年に関係者が実行委員会を立ち上げ、ひのき屋ライブを再開し今回で14回目。実行委の竹内淳輝代表は「ひのき屋のライブは様々な楽器を使い、音の楽しさを子どもも大人も一緒になって感

は、ここ松之山だけ。『ただいま』という感じで毎年訪れている」と話し、「長年来ているから変化にも気づく。いつもよりカメムシが多いとか、あったかいとか。人が減っていくのも感じるが、元気なうちは続けていけたら」。まさに頼もしい松之山応援団だ。

◎：当日は同センター